

2019年10月24日
日本貨物鉄道株式会社

台風19号の影響による運行状況について (東北線運転再開後の貨物列車の運転計画と代行輸送の実施状況) (10月24日10時現在)

10月12日に上陸した台風19号の影響により、現在も一部の区間において貨物列車の運転ができない状況となっておりますが、東北線について、運転再開見込みを受けて、運転再開後の貨物列車の運転計画が決まりましたのでお知らせします。なお、運転再開までの間、不通となっている代替として、日本海縦貫線を経由した迂回輸送、トラックおよび船舶による代行輸送を引き続き実施しております。今後もJR旅客会社や利用運送事業者等と連携して対応してまいります(下線部が前回ニュースリリース(10月22日10時現在)から更新した情報となります)。

1. 現在の運転中止区間(別紙1をご参照)

以下の複数区間で運転を見合わせています。

- ・中央線 高尾～相模湖間(10月末頃運転再開見込み)
- ・東北線 新白河～郡山夕間(10月29日運転再開見込み※1)
郡山夕～岩沼間(10月26日運転再開見込み※1)

※1 東北線の運転再開はJR東日本仙台支社プレス(10月21日付)によります。

・「夕」は「貨物ターミナル駅」の略。

2. 東北線運転再開後の運転計画※2

これまで運休となっていた東北線経由のコンテナ列車の運転計画は以下の通りです。

- ・始発駅を29日の午後以降に発車する列車(29日集貨に対応する列車)については、一部を除き運転します。
- ・始発駅を30日以降に発車する列車については、通常通り運転します。

※2 詳細については、最寄の弊社営業窓口にお訊ねいただくか、弊社ホームページ「現在の輸送状況」も併せてご覧下さい。

※2 運転計画については、今後の復旧作業の状況により変更となる場合があります。

3. 迂回輸送の実施について(別紙2をご参照)

(1) 区間：隅田川～札幌夕(10/24より1往復増強しています)

運転日・輸送力：10/15～10/26(隅田川発は10/27) 20両編成 1往復/日
→10/24～10/26は さらに20両編成 1往復/日を増強

(2) 区間：名古屋夕～札幌夕間

運転日・輸送力：10/15～10/25 20両編成 1往復/日

4. 代行輸送の実施について（別紙2をご参照）

（1）トラックによる代行

区 間：宇都宮タ～仙台タ間、越谷タ～郡山タ間

運転日・輸送力：宇都宮タ～仙台タ間 10/17～ 最大 114 個／日

→順次増強し 10/23～10/28 最大 200 個／日に増強

越谷タ～郡山タ間 10/23～10/26 20 個／日

これに合わせて、宇都宮タ、仙台タへの折り返し列車も 1 往復ずつ増強しています

区 間：隅田川～宇都宮タ、大阪タ・安治川口・名古屋タ～宇都宮タ 各 1 往復

仙台タ～札幌タ間 2 往復

運転日：隅田川→宇都宮タ間 10/17～10/28、宇都宮タ→隅田川間 10/18～10/29

大阪タ・安治川口・名古屋タ～宇都宮タ間 10/21～10/28

仙台タ→札幌タ間 10/17～10/29、10/23～10/28

札幌タ→仙台タ間 10/17～10/26、10/22～10/27

（2）船舶による代行（釧路貨物（港）または苫小牧（港）→東京（港）、東京（港）→苫小牧（港） および大阪タ（舞鶴港）～札幌タ（小樽港）で運航）

区 間：東京タ～釧路貨物または苫小牧貨物間

（東京港～釧路港または苫小牧港間 船舶）

大阪タ～札幌タ（舞鶴港～小樽港 船舶）

運航日・輸送力：釧路港発 10/18～（10/18・10/22・10/25）

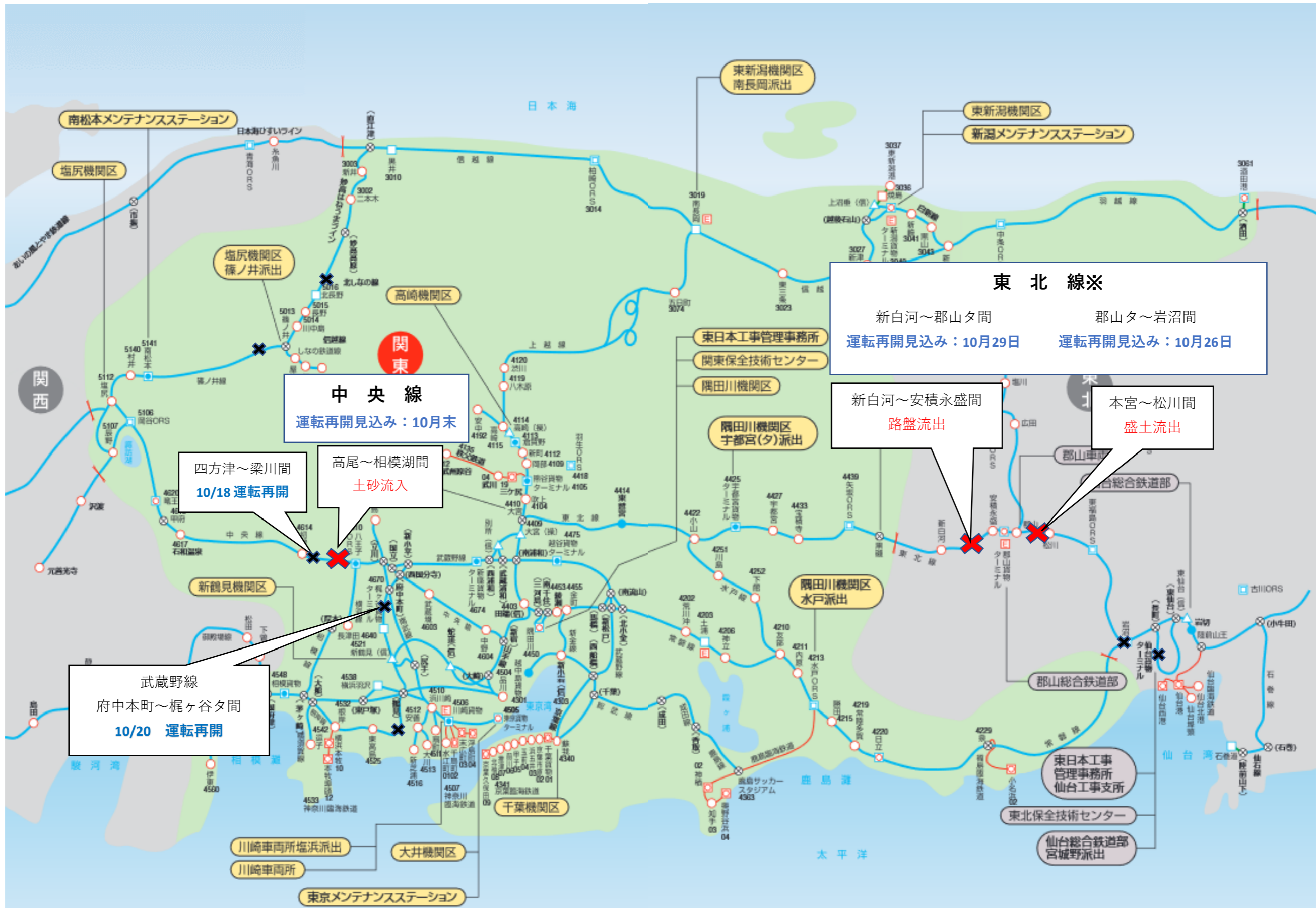
苫小牧港発 10/23～（10/23・10/25・10/26）

東京港発（いずれも苫小牧港着）10/23～（10/23・10/25・10/26）

いずれも 30 個／回

小樽港発 10/15・10/19、舞鶴港発 10/17・10/21

いずれも 12 個／回



・前回ニュースリリース（10月22日10時現在）より変更はございません。

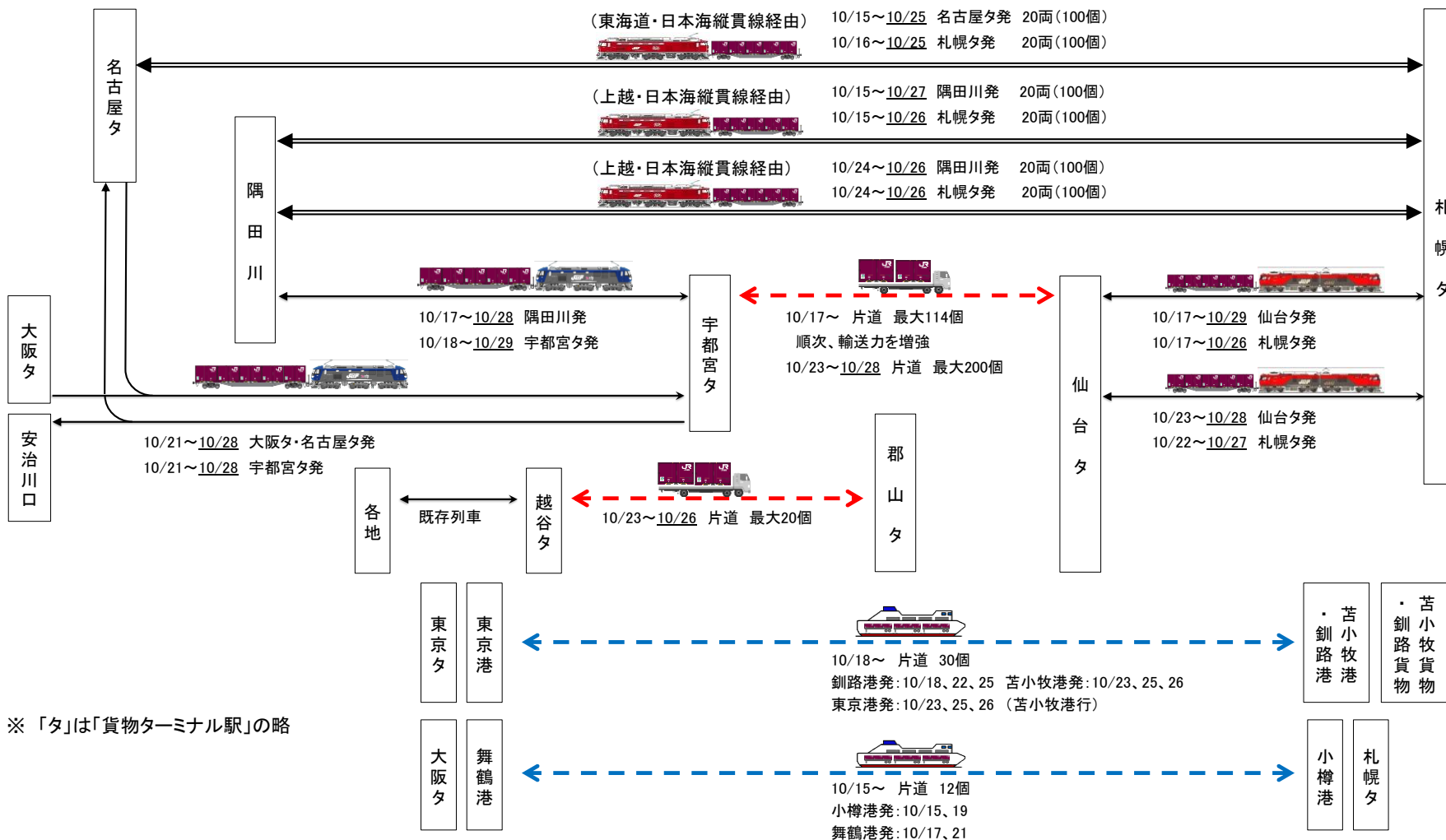
※東北線の運転再開はJR東日本仙台支社プレス（10月21日付）によります。

台風19号の影響による代行輸送・迂回運転 (2019年10月24日現在)

別紙2

- 【凡例】
- ←→ 折返し運転
 - ⇄ 回列車運転
 - トラック代行
 - 船舶代行

※下線部が、ニュースリリース(10月22日10時現在)から更新した情報となります。



※ 「タ」は「貨物ターミナル駅」の略